

# 追手門学院大学 教育後援会会報

発行者  
追手門学院大学  
教育後援会  
〒567-8502  
茨木市西安威2-1-15  
TEL 072 (641) 9669  
FAX 072 (643) 9414



## 教育後援会長挨拶

会長 堀井 裕司

新年明けましておめでとう  
ございます。

昨年6月4日(土)に優勝  
ホールにて開催されました教  
育後援会の総会におきまし  
て、会長の大役を仰せつかり  
ました。三年間に亘り、多く  
の実績を重ねてこられました  
渡辺前会長の後任として今年  
度このような大役を仰せつか  
り、責任の重さを感じ身の引  
き締まる思いです。

この半年間、前会長の功績  
を無にしないよう一年間の任  
期を、役員になられた皆さま  
と協力して精一杯やりぬこう  
と思ひ前進してきました。至  
らない点もあると思ひます  
が、ご指導ご鞭撻を賜ります  
ようお願い申し上げます。

「会員相互の  
親睦を図ること」を目的とし  
て、さまざまな事業を行って  
おりますが、これらの諸事業  
が学生たちの成長を育み、輝  
かしい未来に向けた実りある  
大学での生活の一助となりま  
すことを心から願っております。  
めでたく創立50周年を迎え  
られ、さらなる教育・研究活  
動の充実、教育環境の整備に  
向けて始動している大学、ま  
た、追手門学院教育振興会を  
通じて併設の学校・園の各後  
援団体との連携を深め、より  
一層の発展に向けて邁進して  
いく所存でございますので、  
会員の皆さまのご理解とご協  
力を頂きますようお願い申し  
上げます。

念頭にあたり、皆様のご健  
勝とご発展を祈念いたしまし  
て、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 見学懇親会印象記

教育後援会 委員  
安孫子 浩子

10月18日(火)、見学懇親会  
当日を迎えました。前日から雨  
が降らないかと心配しました  
が、一転晴天で汗ばむほどのお  
天気となりました。

今回は開催場所が大阪市内で  
したので、バスで出かける例年  
とは異なり、直接昼食会場へ向  
かい集合となりました。昼食懇  
親会場の「ザ・ガーデンオリエ  
ンタル大阪」は緑が目優しい  
美しい建物でした。この建物は  
大阪株式取引所や大阪能楽会館  
などの建築設計に携わった建築  
家・竹腰建造の作品で「大阪市  
公館」として建てられた迎賓館  
だったそうです。



緑の芝生に囲まれたレセプ  
ションホールでの会食は光があ  
ふれ、優雅な雰囲気の中で楽し  
い歓談が繰り広げられました。

懇親会開催中、堀井会長から追  
手門ファミリリーが「丸」となり、  
茨木市の東芝跡地に開学する新  
キャンパスを応援したいとの熱  
い決意が語られました。川原理  
事長からは新キャンパスのCG  
動画を見せていただき、新たな  
出発に大きく力を入れていと思  
いと共に、私たち追手門学院教  
育後援会の会員をはじめ追手門  
学院を応援するすべての皆様  
に、この出発を支えてほしいと  
のお話がありました。川原理事  
長のお話を受け、堀井会長から  
新キャンパスに近いJR新駅に  
追手門の名前を入れる運動を皆  
さんと展開したいとの決意も語  
られました。

楽しい懇親会の最中に、この  
後観覧する「トーテム」のビデ  
オ紹介がありました。これから  
観るトーテムへの期待感が更に  
膨らんでいきました。  
トーテム会場へは水上バスを  
利用しての移動となりました。

普段道路から川を眺めますが、  
逆に川から道路や建物を眺める  
ことができ、大阪のまちの違う  
美しさを知ることができました。  
川の水辺にはレストランなど  
が並び「ここは本場に大阪が、  
外国ではないか」と思うほどで  
した。改めて大阪が「水の都」  
であることを実感いたしました。  
水上バスが橋の下を通過す  
るときには屋根が下がってくる  
仕掛けになっていて、30cm上下  
する屋根に船内は興奮状態でし  
た。

いよいよ「トーテム」会場に  
到着。中央前方の良い席で、み  
なさん一緒に鑑賞することがで  
きました。サーカスといえば「木  
下サーカス」を思い出しますが、  
まったく違ったサーカスを見て  
いただきました。「進化」を  
テーマにしたストーリーのある  
展開。中でもキャラクターの方  
たちが、観客席まで何度も出  
きてウロウロし、見ている者を  
飽きさせない工夫があり、大人  
も子供も楽しめる内容でした。

懇親会の際に見た「トーテム」  
のDVDで、ポスターに登場さ  
れている「カエル」役の方が日  
本人と紹介されていて、皆さん  
と「どのカエルが宮さん？」と  
会話しながら鑑賞することもで  
き、楽しいひと時でした。  
日常を忘れ、サーカスの世界  
観の中で気持ちもリフレッシュ  
できました。追手門ファミリリー  
が一体となって皆さんとの絆を  
確かめ合う年に一度の素敵なイ  
ベントです。来年の再会を約束  
して帰途につきました。

2016年度  
**教育後援会  
総会開催**



**2015年度事業報告**

- 本会は、
- 1 学生の福祉を増進する
  - 2 教育環境の向上に寄与する

2016年6月4日(土)午前10時30分より大学6号館優駿ホールにて、2016年度教育後援会総会を開催いたしました。ご参加くださいました会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

2015年度教育後援会渡辺会長の挨拶に続き坂井学長、川原理事長よりご挨拶をいただいた後、2015年度新役員の紹介があり、新役員を代表して堀井裕司会長より就任挨拶を行いました。

その後議長に会長が選出され、議事が進行されました。詳細は次の通りです。

- 3 大学と家庭の連携及び会員相互の親睦を図る
- を目的として、2015年度事業計画に基づき、次の事業を実施した。

**1 学生への助成**

**(1) 奨学金の給付**

**① 教育後援会給付奨学金**

修学の熱意があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生を援助することを目的とする。2014年度より給付者を春学期、秋学期5名ずつ拡充し、30名の学生に給付した。

**② 教育後援会修学援助給付奨学金**

学資支弁者たる父母または保証人が死亡したことによる家計急変のために、修学を継続することが経済的に困難となった学生の学費等を援助することとを目的とする。2015年度は7名の学生に給付した。

**(2) 基礎学力測定試験の受験料全額援助**

2015年度からの新規事業で、1年生1725名を対象に実施した基礎学力測定試験の受験料全額援助を行った。

**(3) 課外活動に対する援助**

課外活動団体の大会出場にかかる諸経費、学外施設の利用料及び成績優秀団体への報奨金等の援助を行った。

**(4) 就職模擬試験の受験料半額援助**

3年生を対象に実施している就職模擬テスト3種類の受験料の半額援助について、受験者の増加が見込まれるため、大学からの要望に基づき拡充増額して行い、当年度は延べ1655名(昨年度比延

べ327名増)の学生の受験料の半額援助を行った。

(5) 国際交流活動に対する援助  
海外留学準備講座、英語力アップ講座、語学検定料等の援助を行った。

**(6) 入学・卒業記念品の贈呈**

入学生への入学記念品として筆記具を贈呈した。卒業生へは卒業記念品として印鑑1本と袱紗のセットを贈呈した。

**(7) 卒業記念パーティーの開催**

春学期末卒業生に対しては、2015年9月25日(金)に春学期末学位授与式終了後、大学食堂棟で開催した。年度末については、2016年3月22日(火)に学位授与式終了後、ホテルニューオータニ大阪において開催した。

**2 大学への援助**

**(1) 学生支援基金の積立**

奨学金制度の充実、課題活動・就職活動・国際交流活動に対する援助の充実を図ることを目的とした基金の積立(2012年度～2015年度)

(2) 大学50周年記念事業協力基金の積立(2012年度～2015年度)

(3) 教育後援会事務の委託にかかる経費補填

**3 大学と家庭との連絡、会員相互の親睦**

**(1) 会報の発行**

2015年4月30日と12月20日の2回発行した。

(2) 「保護者のためのキャンパスガイド」の発行  
入学手続き後に新入生保護者に配布した。

(3) ホームページを通じての会員への広報  
2015年12月にホーム

ページをリニューアルした。今回のリニューアルではスマートフォンでの閲覧に対応し、行事の報告等インターネットによる情報発信の充実を図った。

(4) 保護者のためのオリエンテーションの開催  
2015年6月6日(土)

(5) 保護者のための就職講演会の開催(年2回)  
2015年6月6日(土)

(6) 保護者のための講演会の開催(学生相談室の企画・協力のもと、年1回開催)  
2015年6月6日(土)

(7) 修学相談会への援助(年2回)  
今年度は修学相談会が開催されなかったため、援助は行っていない。

(8) 見学懇親会の開催(教育後援会・卒業生保護者の会共催)  
2015年10月12日(月・祝)に卒業生保護者の会と共催で保津川散策、妙心寺、新作狂言鑑賞等の日帰りバスツアーを開催し、126名が参加した。

(9) 新会員歓迎会の開催  
2015年4月1日(水)の入学式後に新会員歓迎会を開催した。

(10) 新入生保護者歓迎のお茶席「桜の縁」の開催(教育後援会・卒業生保護者の会共催)

2015年4月1日(水)に開催した。

(11) 特別公開講座「おうてもん塾」の開催(2期12講)  
第1期は経済学部と国際教養学部アジア学科により「イストラムを知ろう」をテーマに6月から7月にかけて6講、第2期は地域創造学部と心理学部により「まちづくり」をテーマに10月から11月にかけて6講実施した。

(12) 実行委員会、会員総会の開催  
実行委員会を8回実施した。6月に会員総会を開催。

(13) 慶弔規定にもとづく祝金及び弔慰金の給付

**4 教育振興会との連携**

**2016年度収支決算報告及び会計監査報告**

原案のとおり承認されました(3ページ参照)。

**2016年度事業計画案及び収支予算書**

2016年度事業に、食堂で販売される朝定食の一部援助などを新規事業として追加することが承認されました。また、2016年度収支予算書は原案のとおり承認されました(3ページ参照)。

**退任役員  
感謝状及び記念品贈呈**

退任役員に学長より感謝状及び記念品と花束が贈呈されました。

最後に教育後援会の活動に対するご支援・ご協力を改めてお願いして総会を閉会いたしました。

2015年度教育後援会収支計算書  
 <2015.4.1～2016.3.31>

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
会 費	64,650,000	63,690,000	960,000
収入の部			
会員研修参加費	1,300,000	1,862,170	△ 562,170
受取利息配当金	13,000	19,247	△ 6,247
雑 収 入	15,000	15,000	0
当年度収入合計	65,978,000	65,586,417	391,583
前年度繰越金	61,308,128	61,308,128	0
収入の部合計	127,286,128	126,894,545	391,583
支出の部			
会議費	650,000	395,913	254,087
会員研修費	3,000,000	3,299,986	△ 299,986
教育・就職講演会援助費	1,000,000	360,952	639,048
学生奨学金助成費	14,750,000	14,750,000	0
学生関係援助費	13,150,000	11,182,522	1,967,478
記念事業協力積立金	2,500,000	2,500,000	0
会報作成費	1,000,000	639,416	360,584
キャンパスガイド作成費	1,100,000	993,600	106,400
卒業記念パーティー費	8,900,000	8,862,295	37,705
記念品費	4,800,000	4,334,880	465,120
慶 弔 費	600,000	599,200	800
通信費	2,200,000	1,707,890	492,110
事務費	1,300,000	919,064	380,936
広報費	1,000,000	412,560	587,440
雑 費	50,000	30,648	19,352
事務処理援助費	3,500,000	3,500,000	0
学生支援基金積立金	10,000,000	10,000,000	0
予 備 費	3,000,000	0	3,000,000
当年度支出合計	72,500,000	64,488,926	8,011,074
次年度繰越金	54,786,128	62,405,619	△ 7,619,491
支出の部合計	127,286,128	126,894,545	391,583

上記のとおり報告いたします。 2016年5月14日  
 追手門学院大学教育後援会 会長 渡辺 睦 翁  
 会計 東 畑 千 尋  
 会計 鶴 田 順 子  
 2015年度教育後援会の会計について監査の結果、すべて適正、かつ正確であることを認めます。2016年5月14日  
 追手門学院大学教育後援会 会計監査 安 田 友紀子  
 会計監査 圓 山 律 子

2016年度教育後援会収支予算書  
 <2016.4.1～2017.3.31>

(単位：円)

科 目	16年度予算額	15年度予算額	差 異
会 費	65,000,000	64,650,000	350,000
収入の部			
会員研修参加費	1,500,000	1,300,000	200,000
受取利息配当金	20,000	13,000	7,000
記念事業協力費特定預金からの繰越収入	10,000,000	0	10,000,000
雑 収 入	15,000	15,000	0
当年度収入合計	76,535,000	65,978,000	10,557,000
前年度繰越金	62,405,619	61,308,128	1,097,491
収入の部合計	138,940,619	127,286,128	11,654,491
支出の部			
会議費	500,000	650,000	△ 150,000
会員研修費	3,000,000	3,000,000	0
教育・就職講演会援助費	1,000,000	1,000,000	0
学生奨学金助成費	14,750,000	14,750,000	0
学生関係援助費	13,600,000	13,150,000	450,000
寄 付 金	10,000,000	0	10,000,000
記念事業協力積立金	1,000,000	2,500,000	△ 1,500,000
会報作成費	1,000,000	1,000,000	0
キャンパスガイド作成費	1,200,000	1,100,000	100,000
卒業記念パーティー費	8,900,000	8,900,000	0
記念品費	5,000,000	4,800,000	200,000
慶 弔 費	700,000	600,000	100,000
通信費	2,000,000	2,200,000	△ 200,000
事務費	1,300,000	1,300,000	0
広報費	500,000	1,000,000	△ 500,000
雑 費	50,000	50,000	0
事務処理援助費	3,500,000	3,500,000	0
学生支援基金積立金	10,000,000	10,000,000	0
予 備 費	3,000,000	3,000,000	0
当年度支出合計	81,000,000	72,500,000	8,500,000
次年度繰越金	57,940,619	54,786,128	3,154,491
支出の部合計	138,940,619	127,286,128	11,654,491

2016年度  
 教育後援会役員

職 名	氏 名	学 年	学 部
会 長	堀 井 裕 司	3	経 営
副会長	平 塚 亜 矢 子	4	心 理
	小 寺 千 聡	4	経 済
	小 村 美 幸	3	国際教養
会 計	鶴 田 順 子	4	経 営
	富 田 善 美	3	経 済
会 計 監 査	一 瀬 隆 子	4	経 営
	岩 村 公 江	4	国際教養
委 員	岸 本 起 久 子	4	経 営
	坪 田 玲 子	4	社 会
	谷 村 仁 代	3	経 営
	田 中 里 香	3	経 営
	森 下 純 江	3	経 営
	上 原 裕 香	3	心 理
	安 孫 子 浩 子	3	社 会
	神 崎 実	2	経 済
	竹 内 暁 子	2	経 済
	林 真 由 美	2	地域創造
	野 村 和 子	2	社 会
	下 出 京 子	1	経 営
	梨 木 真 弓	1	地域創造
	細 越 雅 子	1	地域創造
	津 田 美 佐	1	社 会
樽 本 丞 史	1	心 理	
乾 智 子	1	国際教養	
笠 間 優 雄	1	国際教養	



教育後援会 DAY



総会終了後、学生食堂無料体験等が開催され、学生が普段利用している食堂で食事し、活気のある雰囲気体験していただきました。

お昼以降は「保護者のための講演会」を同じく優勝ホールにて開催いたしました。

12時55分から学生相談室企画による「大学生のメンタルヘルス」家族に知ってほしいこ



と、14時から就職・キャリア支援課企画による「就職活動の現状と夏期インターンシップの位置づけ」といった講演会にご参加いただきました。

また、お子様の学生生活にかかる各種相談コーナーを設け、奨学金相談、海外留学相談、教員免許・資格取得、学生相談等を各会場にて受け付けました。

教育後援会 給付奨学金交付式 挙行

2016年度教育後援会給付奨学金交付式を9月23日(金)に挙行了しました。

この奨学金は教育後援会の資金をもって創設し、修学の熱意があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生への援助・学業に専念できる環境づくりを目的としています。

2014年度の総会にて給付枠20名から30名への拡大が承認され、選考により春学期・秋学期を併せて30名の学生に奨学金を給付いたしました。



2016年度 春学期末学位授与式 卒業記念パーティー

9月23日(金)、2016年度春学期末学位授与式が大学1号館3階会議室5にて挙行されました。

午前10時30分に開式し、国歌斉唱後、坂井学長より卒業生に学位記が授与されました。続いて学長式辞、理事長祝辞、来賓紹介、卒業記念品贈呈が行われ、最後に慣れ親しんだ学院歌を斉唱し、滞りなく式は終了しました。

式後、食堂棟2階コンベンションルームにて卒業記念パーティーを開催しました。坂井学長祝辞、教育後援会堀井会長の挨拶に続き、川原理事長の乾杯のご発声で会食が始まりました。

多数の方々にご参加いただき、わずか1時間余という短いひとときでしたが、卒業生たちとの間には楽しい語らいの輪が広がり和やかな雰囲気となりました。

最後に校友会林田会長よりお祝いとお歓迎のご挨拶を頂戴した後、卒業生代表より謝辞があり、名残惜しみつつ卒業記念パーティーは幕を閉じました。



将軍山祭にて

模擬店を出店いたしました

2016年11月6日(日)、将軍山祭に模擬店を出店し、チュロス販売いたしました。前日の天気予報とは違い朝から雨が心配される曇り空でしたが、チュロスの売れ行きは盛況で、無事に完売となりました。

将軍山祭実行委員の学生さんをはじめ、たくさんの方々にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



テーマ

# 50ing

ゴーイング

第50回 将軍山祭

11月5日(土)・6日(日)



## 第50回 将軍山祭実行委員会

委員長 太子 智之

(経済学部4年 ヒューマンエコノミー学科)

本年も、学校教職員の方々をはじめ、多くの方のご支援、ご協力を賜り、大きな節目となる第50回将軍山祭を無事終えることができました。関わっていただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

今年は、50年間の集大成を見せる。今までの良い点をのばし、そうでないところは大きく改善していこうという思いで付けた「50ING！」のテーマのもとに強い意気込みを持って始まった第50回将軍山祭。歴代の将軍山祭テーマをモチーフにしたアーケードをさくら径に設置したり、近隣の幼稚園に子供向けのデモンストレーションを行うなど、全員が少しでも多くのお客様に来ていただきたい、ご来場いただいた皆様が楽しんで帰り、また来たいと思えるような将軍山祭作りに勤しんで参りました。今年もたくさんの方の笑顔を見ることができました。

新たな一歩となる第51回将軍山祭でも、今年以上を目指し、活動していきますので、変わらぬご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



2016年度  
ホームカミングデー

将軍山祭期間中の11月6日(日)に大学校友会主催の第26回ホームカミング・デーが食堂棟などで開催されました。

本年度は、大学創立50周年を記念した交歓会として、大学校友会の総会や懇親会、学部同窓会ならびにクラブ同窓会が盛大に執り行われ、多くの卒業生と家族たちが母校に帰ってきました。

将軍山会館では第1期卒業生からの「卒業アルバム展」や地域創造学部の紹介展示、懇親会会場では、アメリカ民謡研究部OBバンドの演奏とともに、恩師や級友との旧交を温めあう光景が各所で見られました。今年結成の応援団による演舞も披露され大いに盛り上がりました。



## どう参加すればいい？ インターンシップ



インターンシップは、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこととして幅広く捉えられており、多種多様なプログラムが実施されています。本学はインターンシップ制度に力を入れており、毎年多くの学生が実習に参加しています。ご家庭でも学生の皆様のインターンシップ参加をご支援いただければ幸いです。

### ① インターンシップ参加の意義

「社会・自分を知る」ことができるのが、インターンシップに参加する第一の意義です。実際に社会に出て、そこで働く人々とともに仕事をする経験を通じて、「会社や組織の仕組み」「働くとは」「社会で求められる力」等について実感を得て知ることが出来ます。また、「今興味のある仕事が本当にやりたいことかどうか」「自分の適性」等について自己理解が深

### ② アルバイトとの違い

アルバイトとは、事業所が労働力の確保を目的として求人するものです。一方インターンシップは、今後の学業生活や将来のキャリアプランに役立てる目的で実施されています。

単純な労働力と認識されるアルバイトと異なり、インターンシップは人材育成の機会と捉えられており、「仕事や企業について知りたい」という意欲を持つ学生の期待に応える制度である点が、アルバイトとの大きな違いです。

### ③ 就職に有利になる？

有利になる場合もあれば、特に影響のない場合もあります。有利になるケースとして、企業が採用戦略の一環として実施

しているインターンシップがあります。採用直結と明言しているものなど、インターンシップを通じて優秀な学生を見極めようとしている場合であれば、実習中に一定の成果を残すことができれば採用に繋がります。

ただ、ここ1、2年で急増している「IDAYインターンシップ」については、その実態はほぼ企業説明会と変わらないものが大半と考えてよく、参加側もその認識をもっておくべきです。

一方、受入側が純粹に人材育成のために実施している場合は、その企業・団体への就職に大きな影響はないと考えてよいでしょう。

とはいえ、実践度の高い中長期のプログラムでビジネススキルを身につけることができれば、結果的に就職活動が有利に進むことはありますし、業界や仕事への理解が深まれば、進路選択への迷いが無くなり、結果として就職活動がうまくいく、と考えられます。

どのようなインターンシップであれ、目的意識が不明確なまま参加しては、得るものは少なくなります。事前にインターンシップに参加する目的を明確に

描き、目標に向けて精一杯取り組む中で、自分の関心や特性を見極め、社会で求められる力をつけることができれば、就職できる力は自ずと身につけていきます。

### ④ 追手門学院大学のインターンシップについて

本学と直接協定を結んでいる受入先は約200社あり、多様なプログラムを提供しています。

受入先、実習生ともに年々増加しており、2015年度には130社、293名の学生が実習に参加しました。2015年度からは対象を全学年へと拡大し、低学年からの積極的な参加を呼びかけています。

実習には「社会・自分を知る」ための体験型のプログラムが多い一方、ビジネス現場での本気のチャレンジを通じて「成長したい」人を対象に、中長期実践型のプログラムも独自に開発しています。



低学年のうちにもまず一度インターンシップに参加して、そこで得た学びや気づきをもって学生生活に取り組み、3年生のときには就職も意識しながら、ある程度の方針と戦略を持って再度参加する、というのが、最も合理的な活用方法と言えます。本学のインターンシップ制度は、それが可能な仕組みになっています。

### ⑤ 気軽に相談を！

ここ数年で、インターンシップを取り巻く環境は激しく変化し、複雑化しています。どんなインターンシップに参加すべきかわからない、などの悩みがあれば、就職・キャリア支援課までお気軽にお問合せください。

経済学部

### 入学定員大幅増 新カリキュラムスタート

本学の経済学部は18歳人口が減少する中であっても、2012年度入試から毎年、一貫して志願者が増加しており、他大学を驚かせています。そこで、多くの志願者のニーズに応えるべく、2017年4月から、現在の290名から400名へ入学定員を110名増加します。

また、経済学部は2015年度から6つのプログラムによる教育課程を導入していますが、定員増に併せて、受験生の皆さんに分かりやすい教育課程をめざし、現在の6つのプログラムを5つのコースに再編します。同時に、従来の特別プログラムOE50に加え、どのコースからでも履修できるプログラムを新たに4つ設けることにしました。これらの新カリキュラムは、2017年4月入学生から適用します。



#### 支援内容

- ・個人相談受付
- ・個別学習プランの作成
- ・教員採用試験対策セミナー、講座、学習会等の開催
- ・教職インターシップや学校ボランティアの紹介
- ・教員採用試験に関わる情報提供
- ・卒業生教員等の交流・連携など

#### 利用案内

- ・センター開設時間  
月～金（平日）  
9:30～17:00
- ※図書・資料の閲覧ができます
- ※個人相談も随時受け付けます
- ・連絡先  
TEL: 072-641-9187  
(ダイヤルイン)  
E-mail: kyoshi@otemon.ac.jp

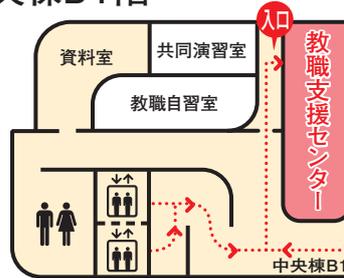
場所 下記マップ参照

### 教職支援センター

追手門学院大学では、教員を志す在学生や卒業生を支援する「教職支援センター」が設置されています。毎年、センターオリジナルの「教員採用試験対策ガイドブック」による「教職スタートアップガイダンス」、「追大卒業生教員との交流会」、「模擬試験」、「夏期講習」、「教員採用試験対策講座」、「個人面談」などを実施し、在学生・卒業生が多数参加しております。

また「小学校教員免許取得プログラム奨学金制度」もあり、在学中の小学校教員免許の取得を支援しています。センター内には、採用試験の過去問や、小・中・高の教材、専門誌も用意し、それらを使って「教職自習室」で勉強することもできます。教員をめざす学生の皆さんへのサポート体制が一層充実されました。教職をめざす学生の皆さんに、ぜひセンターを活用していただきたいと思います。

### 中央棟B1階



### 教職採用試験合格者

教職支援センターで指導を受けた学生が合格しました！

★大阪府中学校英語教員採用試験合格

**小山 大智さん**

・2016年3月国際教養学部

英語コミュニケーション学科卒業

★日本国大使館附属インドネシアジャカルタ

日本人学校中学部英語教諭採用試験合格

**南 智穂子さん**

・2016年3月国際教養学部英語コミュニケーション学科卒業

・公益財団法人海外子女教育振興財団

日本人学校教員採用試験合格 2016年9月より赴任



## アジア学科から国際日本学科へ名称を変更

追手門学院大学は2016年度に、創立50周年を迎えました。これを機に、さらなる発展を期して様々な改革に取り組んでいますが、その一環として、社会の国際化、グローバル化の進展に対応した国際教養学部の見直しを進めており、2016年4月から英語コミュニケーション学科の名称を国際教養学科へ変更しました。そして、これに続いて2017年4月より、アジア学科の名称を国際日本学科へ変更することになりました。

国際日本学科への名称変更は2017年4月以降の入学生に適用しますので、現在のアジア学科在学生の皆さんの学科名称は、アジア学科のままで変更はありません。

### 国際教養学部



変更日：2017年4月1日  
(2017年4月入学生から変更)

国際教養学部国際教養学科では、2017年4月入学生から全員留学と英語力アップをコンセプトにした、3コース制による新カリキュラムがスタートします。



**学位授与式**  
 日時 2017年3月17日(金)  
 11時開式  
 (10時30分までに着席)  
 場所 追手門学院大学 体育館

**卒業記念パーティー**  
 日時 2017年3月17日(金)  
 16時30分開始(16時開場)  
 リーガロイヤルホテル  
 (京阪中之島線中之島駅直結)

お知らせ

心理の追手門に

待望のドクターコース誕生!!  
 わが国トップレベルの教員が結集

文部科学省の認可を受け、2017年4月、心理学研究科心理学専攻の博士後期課程(ドクターコース)を開設します。これまでの心理学専攻修士課程は、博士前期課程に名称が変わります。新しく開設する博士後期課程は、入学定員3名で、次の3部門から構成されます。

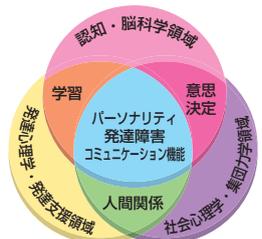
- ◆認知・脳科学領域研究部門
- ◆発達心理学・発達支援領域研究部門
- ◆社会心理学・集団力学領域研究部門

この3つの部門を中心に、高度な専門性を築き上げる徹底した研究指導を行い、同時に、従来の心理学研究の枠組みを越えた柔軟なアプローチによって、複雑性を増す現代社会における心理学の専門家への多様なニーズに応える人材を育成します。

◆2017年度入試日程◆

出願期間：2017年  
 1月12日(木)～1月26日(木)  
 (消印有効)  
 試験期日：2017年2月16日(木)

入試についてのお問い合わせは**入試課**へ、  
 社会人授業料減免等についてのお問い合わせは**教務課**へお願いします。



リオ五輪  
 シンクロナイズド  
 スイミング  
 銅メダリスト  
 母校に凱旋報告会

9月14日(水)追手門学院大学にてリオオリンピック シンクロナイズドスイミング チーム競技 銅メダリストで本学の卒業生である吉田胡桃さん(国際教養学部2014年卒)と中牧佳南さん(同学部2015年卒業)が母校に凱旋しメダル獲得の報告会を開催しました。報告会には福岡洋一茨木市長も駆けつけ、教職員、学生など約100名でお二人のメダル獲得を盛大に祝いました。お二人からは、厳しい練習を乗り越えてメダルを勝ち取った喜びと周囲のサポートへの感謝の言葉が語られました。本学関係者のオリンピックメダリストは現在、基盤教育機構の講師を務める巽樹理さんが、アテネオリンピックのシンクロナイズドスイミングで獲得した銀メダル以来12年ぶりとなります。

健康診断

大学では、学校保健安全法に基づき、「定期健康診断」を実施しています。全学生が毎年受診する義務があり、大学で受診できなかった場合には、最寄りの保健所か医療機関で受診し、診断書を提出していただくことになっています(個人で受ける健康診断の費用は個人負担になります。)

2017年度は、3月末と4月初旬に学年別実施を予定しています。詳細は、1月末頃に学内掲示板、UNIVERSAL PASSPORTを通じてお知らせしますのでご確認ください。

健康診断の証明書は5月頃から発行可能です。この証明書は就職活動でも必要になりますので、必ず受診していただきますようお願いいたします。

健康相談

保健室では、随時健康相談を受け付けています。必要に応じて医療施設や専門医の紹介もしていますが、毎週火曜日の14時から16時には、学校医による健康相談も実施しています。また、保健室では、禁煙支援にも力を入れていますので、禁煙したいけれどもなかなかうまくいかないとお悩みの学生さんはぜひご利用ください。

